



朝読書 + (プラス) はじめました

米工図書館は「朝の読書」を支援しています。昨年度末に朝読書についてのアンケートを実施したところ、「本がないから朝読書ができなかった」という答えが目立ちました。新年度の朝読書の開始と同時にさっそく状況調査を始めました。司書が各教室で朝読書をしながら、生徒のみなさんが本を用意できているのかをチェックさせてもらいました。(ウロウロしてすみません!) その結果わかったのが「(一般的な) 本ではなく教科書を読んでいる生徒が多い」ということでした。朝読書で読む本は「好きな本でよい(ただし雑誌、漫画、教科書は不可)」となっています。教科書が不適切な理由は、それが自分で選んで用意した本ではないからです。朝読書の実施において、生徒自身が読みたい本を選んで用意をするということは非常に大切なポイントです。

そこで今年度新しく「朝読書 + (プラス)」という取り組みを企画しました。1クラスずつ、朝読書の時間を図書館で過ごす日を設定し、司書教諭や司書がブックトークをしたり、本の選び方をレクチャーしたりするという内容で計画を立てました。初日、機械科3年生からのスタートでしたが、みなさん図書館に来るなり、書架を見て回ったり、友だち同士で1冊の本を読み合ったり、とても雰囲気の良い時間を過ごしていました。翌日からの朝読書に備えて本を借りていく人もいました。クラスによって反応がよかったり、そうでもなかったり、いろいろですが、図書館として「本を選ぶこと」「本を自分で用意すること」の支援を続けていけたらいいなと考えています。



＼最近の図書館から／

建設科3年生の課題研究の授業(生徒7名)で図書館のサインボード(←写真の黒板のもの)を大量に作っていただきました。おしゃれな雰囲気のサインボードで、図書館の木の内装とのバランスが最高です。ありがとうございました!大切にに使わせていただきます。